

就職活動に課題・悩みを抱える生徒への 就職支援について

徳島労働局職業安定部職業対策課
徳島公共職業安定所（ハローワーク徳島）

堤 智恵
竹島 崇仙

ハローワークと連携した支援について

1 支援の概要

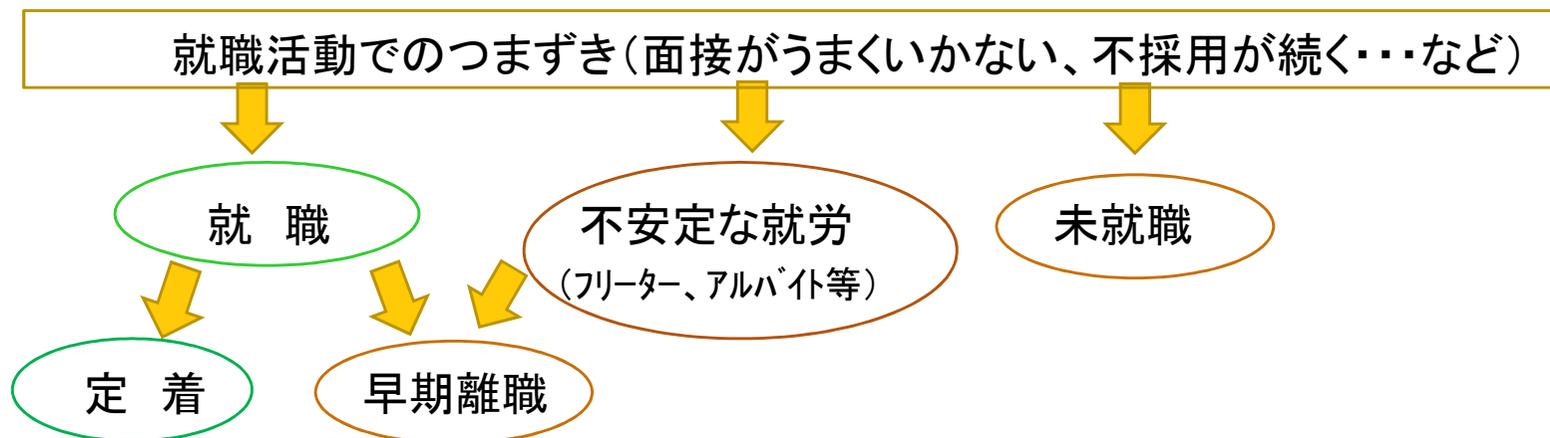
2 ハローワークの支援策

高等学校における障害者の就職の現状と課題①

従前より、高等学校へ進学した生徒の中で、既に障害者手帳を所持している方や手帳は所持していないが何らかの障害がある方が一定数存在する。（「令和5年度徳島の特別支援教育」（徳島県教育委員会特別支援教育課）参照。）

また、近年、ハローワークでは精神障害者や発達障害者などの求職者が増えており、この傾向は高等学校においても同様の状況と推察される。

自己の障害特性を理解できていないと、就職活動時に困難性を伴うことが多く、就職できない場合や早期離職につながるケースもあり、ここでのつまずきは、その後の職業生活にも影響を及ぼすことがある。



高等学校における障害者の就職の現状と課題②

「令和5年度 徳島の特別支援教育」（徳島県教育委員会特別支援教育課）における特別支援学級卒業生の進路状況によると、

①小学校（令和4年度卒業生）の特別支援学級卒業生数 358人

のうち、

- ・ 中学校の通常の学級へ進学した人数 77人
- ・ 中学校特別支援学級へ進学した人数 254人
- ・ 特別支援学校中学部へ進学した人数 27人

78.5%

②中学校（令和4年度卒業生）の特別支援学級卒業生数 250人

のうち

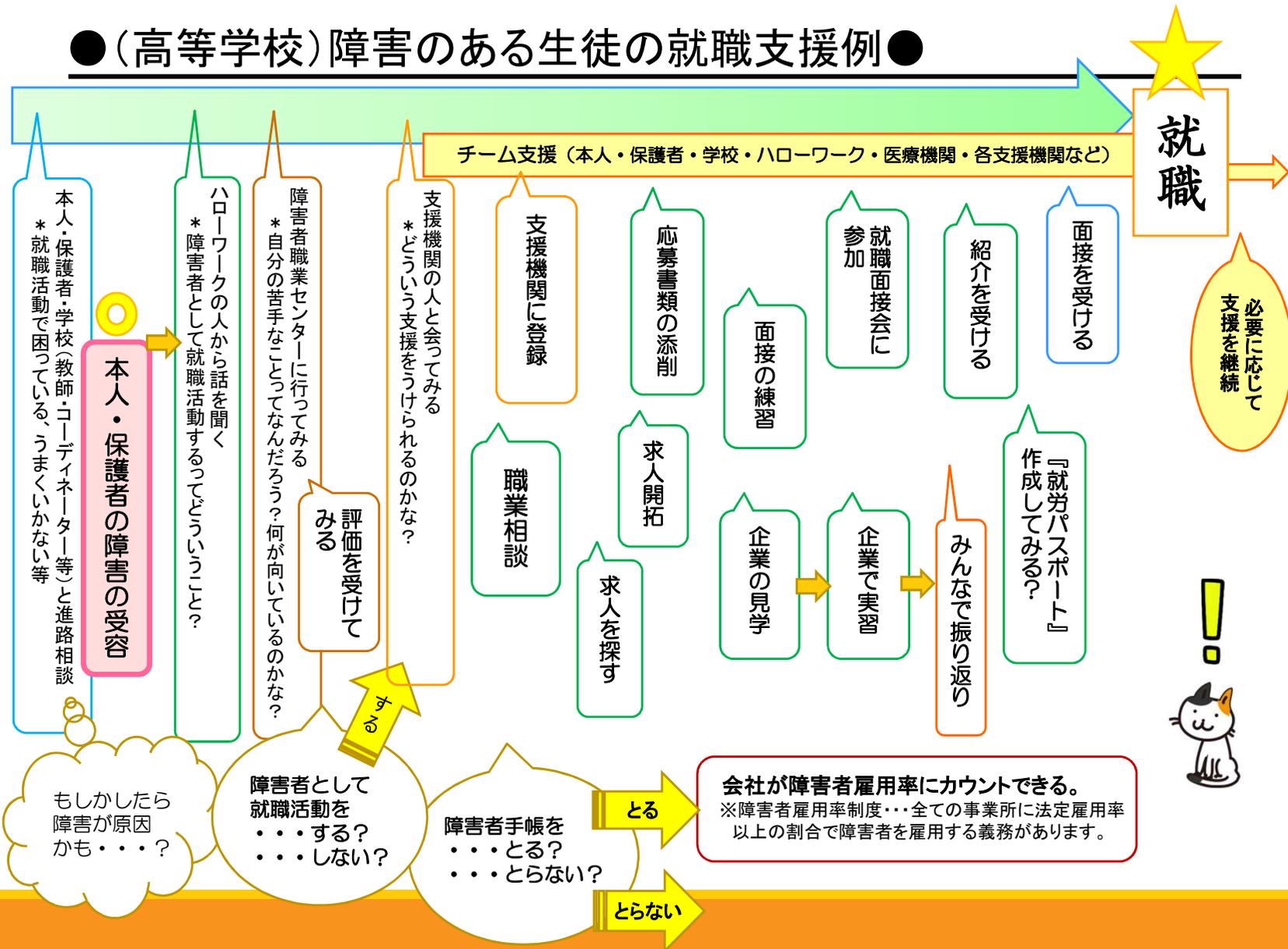
- ・ 高等学校へ進学した人数 162人（26人）

（ ）内は、定時、通信の内数

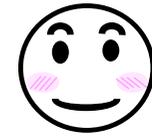
- ・ 特別支援学校高等部へ進学した人数 66人
- ・ 専修・専門学校へ進学した人数 12人
- ・ 家事従事、その他 10人

64.8%

●(高等学校)障害のある生徒の就職支援例●



期待される効果



- 1 本人・保護者が孤立することなく、多角的な情報・知見や支援サービスを得ることができる。
- 2 就職後も、必要に応じて支援サービス(職場定着支援等)を受けることが可能である。
- 3 高等学校における就職相談等の負担軽減が期待できる。

中学・高校における 障がい者就職支援について

なぜ、学卒に障がい者支援が必要？

中学校や一般高校の生徒の中に、就業するにあたり何らかの支援や配慮が必要となる可能性のある生徒数が増えてきている。



一般の学卒求人に応募する生徒に対する就職支援だけでなく、障がい者専用求人に応募する生徒に対する就職支援も必要となる。

統計から見る小学生・中学生の現在



「学校基本調査結果」及び「徳島の特別支援教育」の統計を参考に、以下の3つに注目して生徒数を見ていく

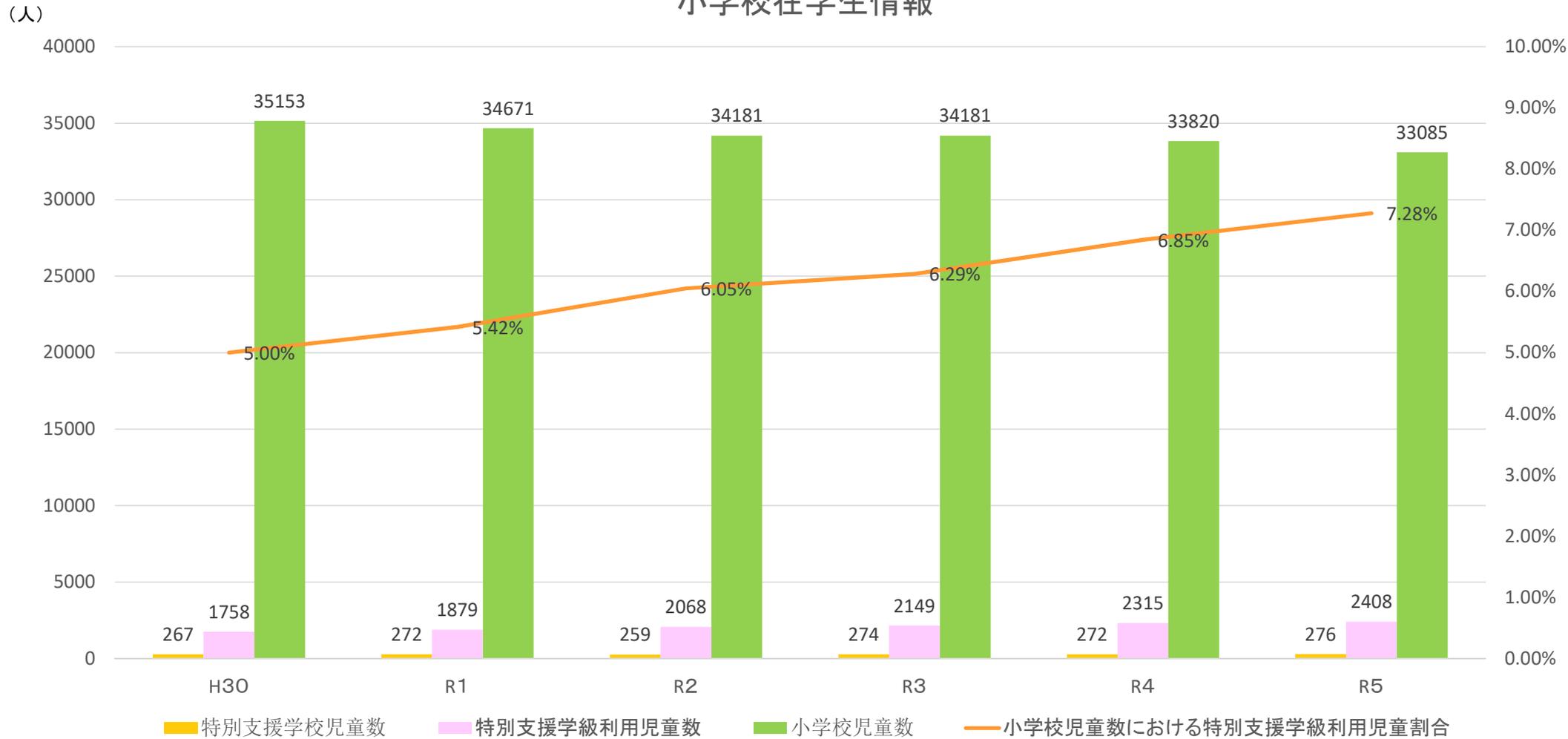
- ・徳島県内の小学校在学生・中学校在学生の推移
- ・特別支援学校^(※1)在学生の推移
- ・特別支援学級^(※2)利用生徒数の推移

(※1) 障害のある幼児児童生徒に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けること目的とする学校。

(※2) 小学校、中学校等において障害のある児童生徒に対し、障害による学習上又は生活上の困難を克服するために設置される学級。

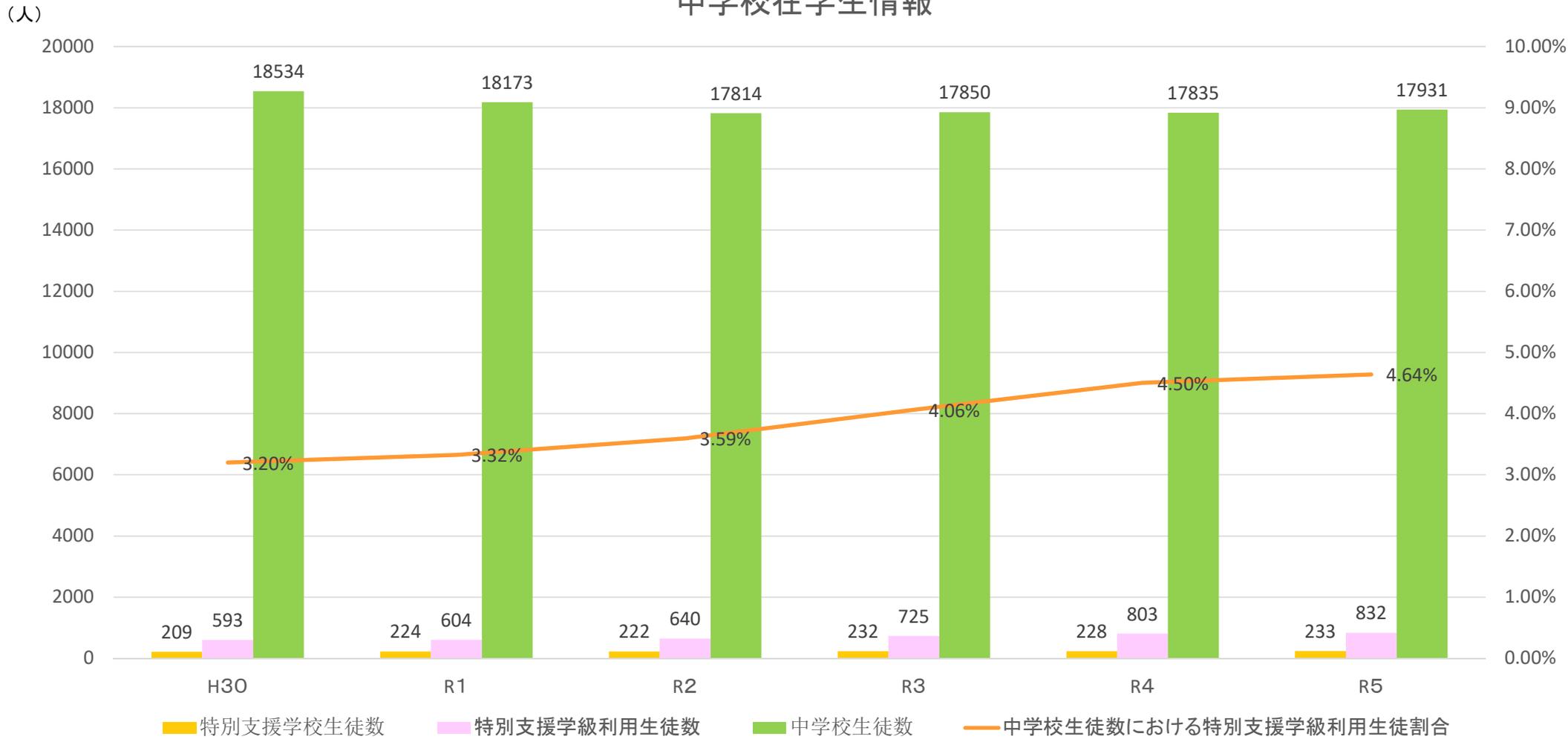
(※1)(※2)については、文部科学省HP特別支援教育の現状内学級の場の種類と対象障害種より引用

小学校在学学生情報



数値については、「学校基本調査結果」(徳島県企画総務部統計課)及び「徳島の特別支援教育」(徳島県教育委員会特別支援教育課)より引用。

中学校在学学生情報



数値については、「学校基本調査結果」(徳島県企画総務部統計課)及び「徳島の特別支援教育」(徳島県教育委員会特別支援教育課)より引用。

- ・徳島県内の小学校在学生・中学校在學生については、減少している
- ・特別支援学校在學生については、大きな変化はない
- ・特別支援学級利用生徒数については、増加している

	小学生			中学生		
	H30	R5	増減率	H30	R5	増減率
児童・生徒数	35,645人	33,085人	7.18%減	18,534人	17,931人	3.25%減
特別支援学級利用生徒数	1,758人	2,408人	36.97%増	593人	832人	40.30%増
特別支援学校生徒数	267人	276人	3.37%増	209人	233人	11.48%増
特別支援学級利用生徒割合	4.93%	7.28%	2.35%増	3.20%	4.64%	1.44%増

参考に、徳島県の高等学校募集定員を見てみると・・・

- ・ 全日制高等学校募集定員、支援学校在学生数についてどちらも減少している。定時制は増減なし。
- ・ 支援学校在学生（高等部）が減少しているが、小学校・中学校で特別支援学級利用者数が増加している。

徳島県の高等学校募集定員（H30～R6）と支援学校在学者数（高等部）について

		H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
全 日 制	全体	5,815人	5,620人	5,515人	5,060人	5,115人	5,010人	5,010人
	うち徳島市内	2,470人	2,430人	2,390人	2,095人	2,220人	2,100人	2,125人
定時制		370人						
支援学校在学生数		521人	496人	461人	439人	451人	458人	

※R3以降徳島県立城ノ内中等教育学校の定員140名除く
 ※支援学校在生徒数については、3学年合計人数となります

数値については、徳島県立総合教育センターHP「募集定員等について」及び「徳島の特別支援教育」（徳島県教育委員会特別支援教育課）より引用。

統計から見える今後・・・



特別支援学級を利用している・利用していた生徒が増え、その中から一般高校に進学する生徒が**増える**可能性が高い。それに伴い、一般高校から就職する際、就業に何らかの支援が必要となる生徒も**増える**可能性がある。また、入学後に発達障害・精神疾患の診断を受ける場合、事故や疾病が起因して難病となる場合や身体障がい者手帳を取得する場合も考えられる。



中学校・高校の生徒の中で、就業する際に合理的配慮を受けやすい、**障がい者専用求人への応募**を希望する生徒が増える可能性がある。そのため、障がい者専用求人への応募スキームを考える必要がある。

障がい者専用求人と一般求人

障がい者専用求人とは・・・？

→事業所から求人を出す際、基本的に障がい者手帳を取得している方を募集対象として出される求人です。障がいを事業所に伝え応募することにより、合理的配慮を伝えることが可能となります。

一般求人とは・・・？

→障がい者手帳の取得のしていない方を対象とした求人です。障がい者手帳を取得している方が一般求人へ応募する際、紹介時に障がいを開示（オープン）するか非開示（クローズ）とするか選択していただいた上で応募するようになります。

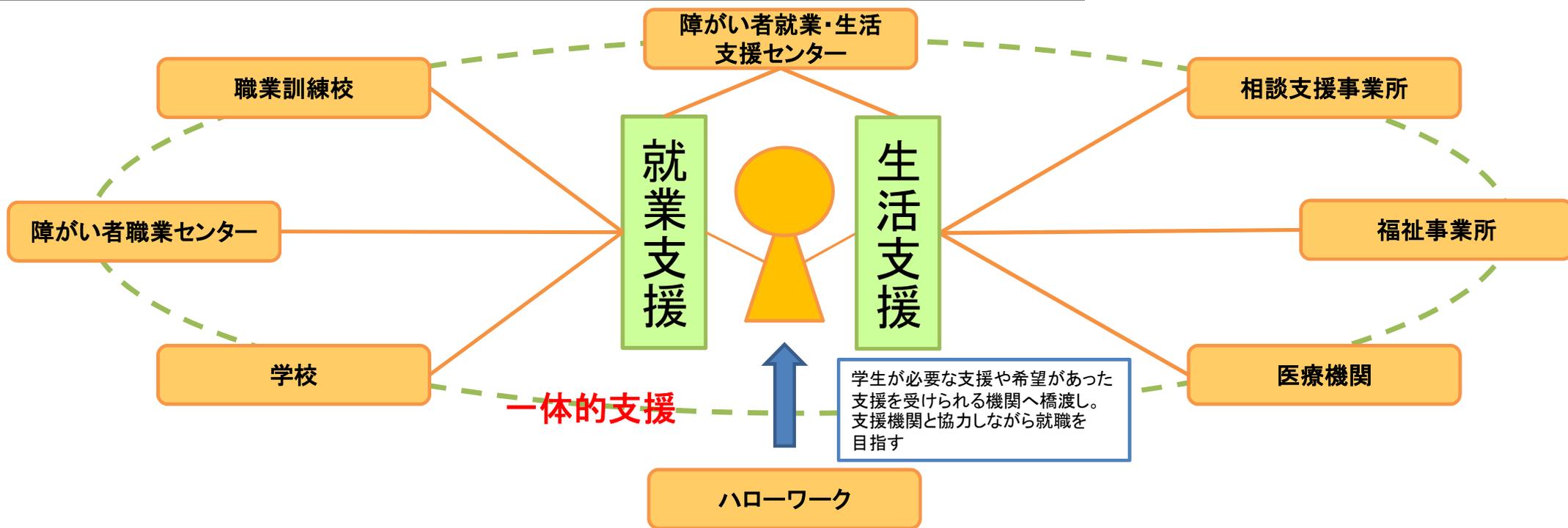
※開示（オープン）の場合は、事業所に応募可能か確認してからの紹介となります。

障がい者専用求人応募のメリット



- ・合理的配慮を求めやすい(障がい特性からできない業務や苦手な業務について事業所へ相談可能。)
- ・応募前の職場見学・職場実習の利用(職場見学・職場実習により、自身がその業務に向いているかを体験することが可能。)
- ・各支援機関への相談や就職後の職場定着支援の利用
- ・通院のための休暇が取りやすい
- ・事業所に対する助成金制度

各支援機関の役割



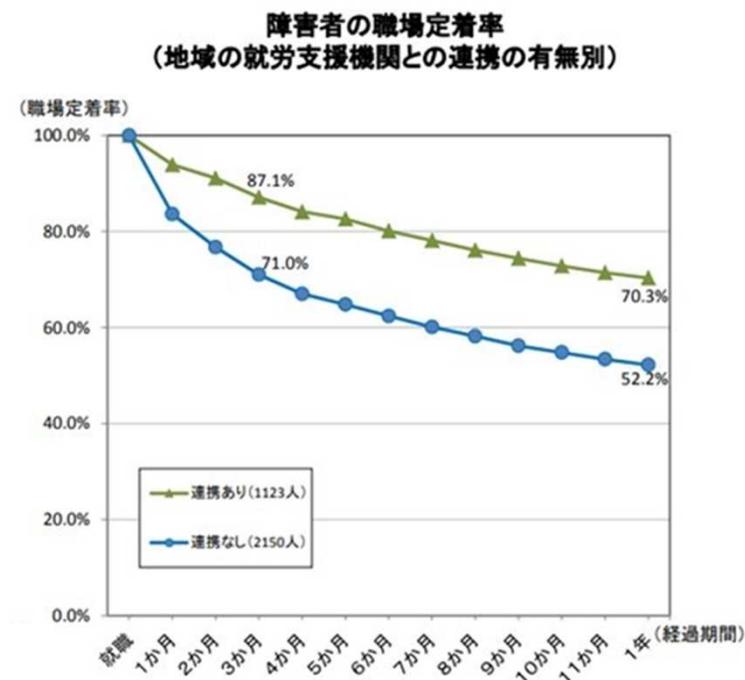
障がい者就業・生活支援センター	障がい者の方々の職業生活における自立を図るため、就業およびこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を一体的に行っています。	相談支援事業所	障がいのある人と、その家族の相談を無料で受け付けます。また、障がい福祉サービスの利用援助、サービスの情報提供、福祉施設・医療機関・ボランティアなどを活用するための支援などを行っています。
障がい者職業センター	障がい者に対して、ハローワークと協力して、就職に向けての相談、職業能力等の評価、就職前の支援から就職後の職場適応のための援助まで、個々の障がい者の状況に応じた支援を行っています。	福祉事業所	日常生活、障がい福祉サービス、福祉制度等についていろいろな相談に応じています。
職業訓練校 (ハロートレーニング)	希望する仕事に就くために必要な職業スキルや知識などを習得することができる公的制度です。離職者訓練、求職者支援訓練、障がい者訓練等があります。	ハローワーク	就職支援ナビゲーターだけでなく、精神・発達障がい者雇用サポーターや難病患者就職サポーターなど、より専門的な支援や相談が必要な場合に相談できる担当が在籍しています。

職場定着支援とは・・・

障がい者職業センターや障がい者就業・生活支援センター等が行っている事業で、障がいのある方が、就労先の労働環境や業務内容に順応し、**長く働き続けられるように支援することが目的**です。

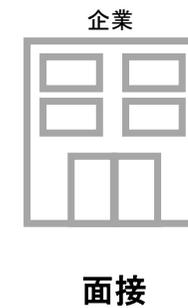
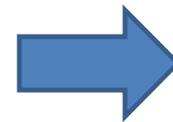
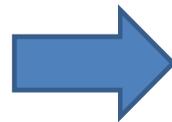
具体的には、就職後に生じた課題(悩みやトラブル)に対して、就労定着支援員やジョブコーチが障がい者本人と会社を仲立ちし、**相談や助言など必要な支援**を行います。

なお、障がい者雇用にて就職した場合、地域の就労支援機関との連携して支援を行った場合(職場定着支援)、**職場定着率が高くなっています**。

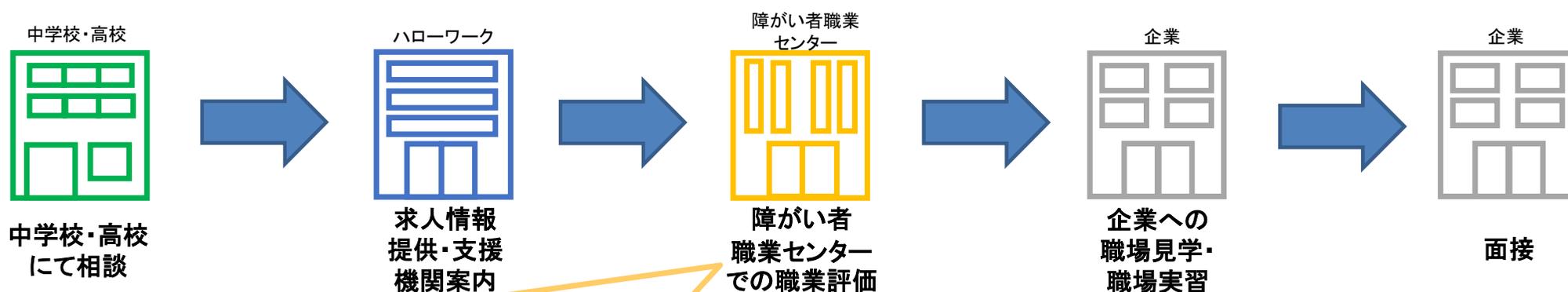


出典「障がい者の就業状況等に関する調査研究」(2017年、JEED)

通常の学卒求人応募の流れ



ハローワークを利用しての就職(例1)



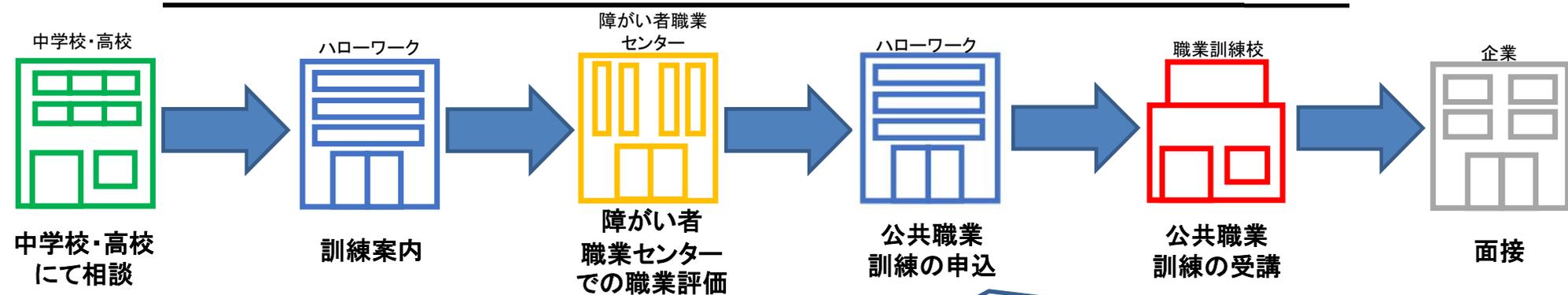
職業相談・職業評価

就職の希望などを把握した上で、職業能力等を評価し、職場に適応するために必要な支援内容・方法等を含む、個人の状況に応じた支援計画を策定する。また、職業評価としてアセスメントツールを利用したり、ワークサンプル法、心理検査、知能検査及び模擬的就労場面における評価を行う。(利用者の状況により、検査内容は相違します。)

アセスメントツール(一部記載)

名称	内容
職業レディネス・テスト	どういう職業に興味を持ち、「職業と自分」について考えるための一つの材料を提供しようとするもの
一般職業適性検査(GATB)	11種類の紙筆検査+4種類の器具検査を行い、9つの敵性能(知的能力・言語能力・数理能力等)を評価する
東大式エゴグラム(TEG3)	交流分析の考え方をもとにした性格の傾向を知る心理検査
VPI職業興味検査(VPI)	160個の職業名から浮かんでくるイメージに従って、興味・関心があるかを答える検査

ハローワークを利用しての就職(例2)



公共職業訓練の受講

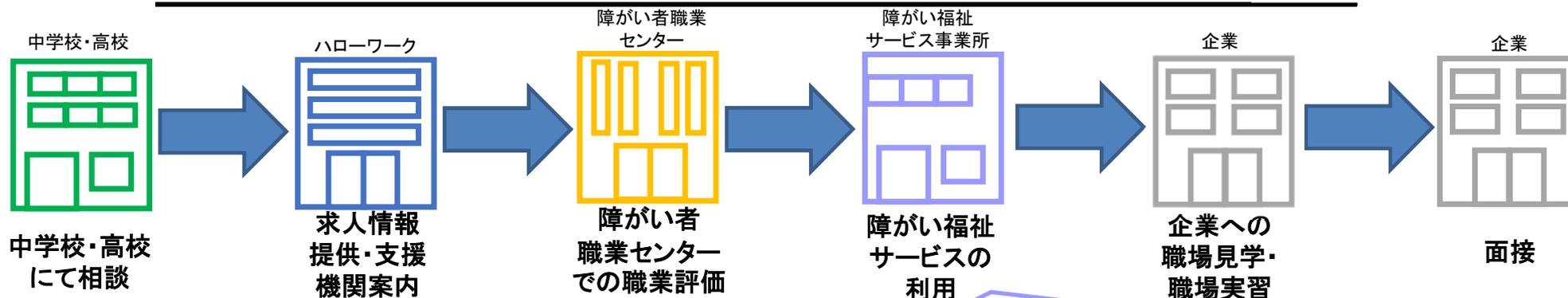
希望する仕事に就くために必要な職業スキルや知識などを習得することができる公的制度です。訓練期間については、短期間のものであれば1か月程度の訓練から2年の長期間の訓練があります。

障がいをお持ちの方については、岡山県にある国立吉備高原職業リハビリテーションセンターでの職業訓練受講についても可能となり、自身の障がい特性や適性について理解を深め、職業についての知識や求職活動の方法について学びながら職業訓練に取り組むことができます。

令和5年度開校訓練(一部記載) ※国立吉備高原職業リハビリテーションセンターについては、令和6年度からの訓練コース変更分記載

公共職業訓練	障がい者専用訓練	国立吉備高原職業リハビリテーションセンター
介護福祉士科、電気設備技術科、住宅リフォーム科、CAD機械科、自動車整備課3級課程、IT技能科、テレオペレーター科、医療事務科、WEBシステム開発実践科…等	在宅パソコン訓練コース、ネットショップ基礎科、病院清掃科、やさしく学べるパソコン基礎科…等	電気機器科製造ワークコース、OA事務科オフィスワークコース、アシスタントワーク科販売・物流ワークコース、アシスタントワーク科サービスワークコース…等

ハローワークを利用しての就職(例3)



障がい福祉サービスとは

障がい福祉サービスは、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障がいのある方が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう必要な支援を受けられるものです。

就労系障がい福祉サービス(一部記載)

就労移行支援	就労継続支援(B型)	就労継続支援(A型)
<p>就労を希望する障がい者であって、一般企業に雇用されることが可能と見込まれる者に対して、一定期間就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。 工賃等無し</p>	<p>一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行います。 平均工賃 22,361円 (徳島県HPより)</p>	<p>一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約の締結等による就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行います。 平均賃金 77,311円 (徳島県HPより)</p>

終わりに・・・



徳島県の生徒数が減少し、一般高校から就職を希望する生徒の中で、就業するに当たり何らかの支援や配慮が必要となる可能性のある生徒数が増えることにより、障がい者専用求人への応募を希望する生徒が出てくる可能性があります。

障がい者専用求人に応募する場合には、障がい者支援機関を利用することにより、自己理解の促進に繋がったり、安定して職業生活を送るための職場定着支援利用できたり、利用可能な制度や支援機関が多数あります。

また、福祉的就労や障がい者専用求人からステップアップして、将来的に**一般求人に応募**することも可能です。

障がい者専用求人への応募を生徒が希望した場合、まずは**ハローワーク**にご相談ください。



ご清聴、ありがとうございました

